

● 支部長あいさつ

島根支部長 矢野 信夫

図問研島根支部報の第一号をお届けします。関係各位のご努力の賜物であり、深く感謝しております。

2005年、広島で開催された「日図協中国ブロック会員のつどい」に参加した際、斐川の白根館長と図問研山口支部の皆さんから、島根で図問研の全国大会を開催するというプランを聞いて驚いたことが懐かしく思い出されます。当時は、図問研に加入してもおらず、会のこともよく知らない状態でした。

翌2006年に、全国大会が中国各県支部地区の皆さんの多大なご協力のもとに開催され、2007年12月に島根支部結成の運びとなりました。

この間、島根、大阪と2回の図問研全国大会に参加しました。そこは「図書館員同士の熱い空気」が共有出来る場でした。自治体の財政状況が厳しい折り、図書館にも色々な風が押し寄せています。そんな中で、各地の図書館の仲間の取り組みを知り、意見を交換することで大きなエネルギーを貰うことが出来ると気付かされた次第です。

この会報と図書館問題研究会島根支部もまた、県内図書館員の交流・連帯の場となり、県内図書館の発展に寄与できることを願っております。



川越委員長と島根支部会員（結成総会后）

● 結成総会・中国ブロックの集い 開催

事務局

2007年12月2日、県立図書館において「島根支部」結成総会を開催しました。川越委員長から挨拶をいただいた他、群馬支部・中沢さん、広島支部・明石さん・高野さんにも臨席いただき、支部規約、および、07年度支部役員と予算を決定しました。

7名の支部ですが、長年積極的に活動されている近隣支部を見習いながら少しずつ活動を本格化させていきたいと思えます。

また、同日午後には、日図協「中国ブロックの集い」を、日図協と図問研島根支部の共催で行いました。ここでは、集いのパネルディスカッションで、コーディネーターをされた斐川町立図書館・白根館長に集いの報告をしていただきます。

※ 集いの報告は、『図書館雑誌1月号』『みんなの図書館2月号』にも掲載されていますので、こちらをご覧ください。

● 中国ブロックの集い 報告

白根 一夫

日図協中国ブロックの集いを日図協と図問研島根支部の共催で島根県立図書館会議室を会場に行いました。

最初に事務局次長常世田良さんが講演されました。現在、常世田さんは全国駆け回って「図書館が日本を救う」と題して講演活動を展開されていますが、今回も同じテーマで話していただきました。



国や東京都、そして出版界やIT情報社会における図書館のはたすべき役割、そして今後益々図書館が期待されるようになっていくと力をこめて、現場の図書館人にエールを届けられました。

報告として次の4人の方々にお願いしました。

- ① 公共図書館の県立の立場からは鳥取県立図書館 小林隆志さんに「知の地域づくりのための図書館ネットワーク」
- ② 同じく公共の町立の立場からは群馬県草津町立図書館 中沢孝之さんに「小さな町の図書館から図書館ネットワークを考える」
- ③ 大学が少ない島根県の大学図書館の立場からは島根大学附属図書館 加本純夫さんに「法人化後における国立大学図書館の現状と地域社会貢献」
- ④ 学校図書館からとして兵庫県尼崎北高校図書館 二宮博行さんに「図書館のネットワークでできる青少年の読書の保障」

をお願いしました。みなさん、与えられた時間をすこしずつ超過して報告されました。

結局その後最後のパネル・ディスカッション「図書館のネットワークは誰のために」があまり議論が展開できませんでした。これはひとえにコーディネーター私の責任です。



会場を移して懇親会を開催しました。常世田さんは仕事の都合でその日のうちに帰京しないといけないので、空港まで大田市立中央図書館の高倉館長に送ってもらうようたのみました。高倉さんの帰路と同じ方向だから頼んだのです。みんなてつきり出雲空港から出発されると思い込んでいたのですが、実はなんと米子空港からだったのです。慣れない土地で常世田さんも気楽に考えられ安心して車に乗り込まれたのです。高倉さんが出発時間を確認するために念のためチケットを見せてもらうと何と松江からは出雲空港と逆方向の米子空港だったのです。高倉さんは急遽方向を変え一路米子空港へ走ったのです。何とか間に合ったと帰宅途中に懇親会場に寄られ話されました。私どもはまだ飲んでいました。高倉さんご苦労さまでした。そしてありがとうございました。

● 事務局から

・ ホームページ開設について

日図協・図問研・日図研・学図研 4団体の島根地区(支部)合同のホームページを開設する運びとなりました。

URL <http://homepage3.nifty.com/school-lib/shimane.html> です。

2月29日(予定)に開設します。

・ これまでの動き・これからの動き

2003年5月 島根支部準備会発足(翌月準備会ニュース1号発行)

2004年3月 準備会ニュース2号発行

2005年7月 全国大会(高崎大会)にて、翌年の開催地が斐川町に決定

2006年1月 全国大会プレイベント(斐川町立図書館)

4月 全国大会プレ集会(斐川町立図書館)

7月 第53回全国大会開催(斐川町中央公民館)

2007年12月 島根支部結成総会・中国ブロックの集いを共催(県立図書館)

2008年2月 支部報創刊号発行・支部ホームページを開設

・ お願い

支部報の記事はいつでもお待ちしております。よろしくお願ひします。

(下のような簡単なものでもかまいませんので……)

● 事務局長コラム 『行きあたりばっ旅』

奥野吉宏

年末年始、5枚綴りの青春18切符が1枚余ってしまったため、ふらっと実家から播磨方面(姫路周辺)へ。途中で寄った第3セクター北条鉄道終点、北条町(ほうじょうまち)駅で降りたら、目の前は「加西市立図書館」の入った複合施設※(1・2階がスーパー、3階に図書館とホール)。

残念ながら図書館は休館日だったが、駅とバスターミナルの待合室が一緒になった「市の玄関」の目の前に図書館+スーパーというのは、「生活動線にあわせる」ことを考えると理にかなっているんだろうな。と感じながら町を後に。

というわけで、今回は、富山の駅図書館の話を。

※『みんなの図書館』2006年8月号に記事が載っていることに後日気づく……

今後は上記ホームページで(不定期)連載予定です。

図書館問題研究会・島根支部報『ともんけん しまね』

編集・発行：図書館問題研究会島根支部

事務局：島根県簸川郡斐川町大字直江町4156

斐川町立図書館内